

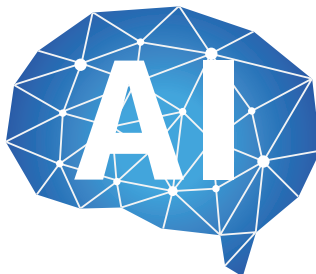
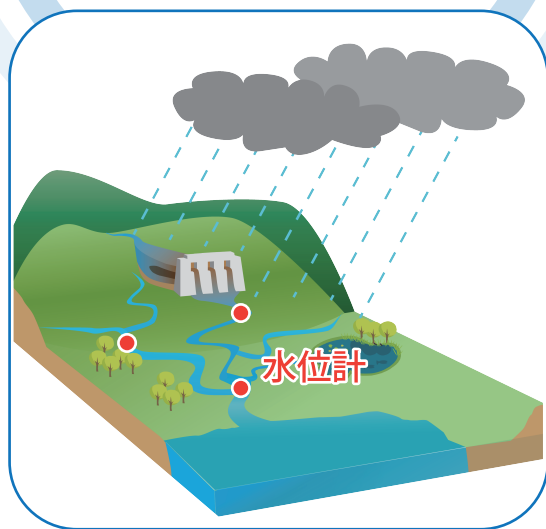
水位計を活用した洪水予測システム

水位計

クラウド

洪水予測

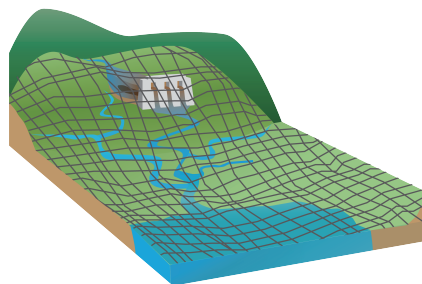
水位計を設置するなら、
洪水予測システムを
セットで導入！！



AIモデル

物理モデル[※]

最適手法で
洪水を予測



AI技術と物理モデルを融合した最新の洪水予測システム 24時間先までの予測水位をリアルタイムに提供します

※物理モデルは、全国で実績のある国立研究開発法人土木研究所が開発した『降雨流出氾濫モデル(RRIモデル)』を利用

簡単・低コスト

水位計のデータを利用して任意の地点で洪水予測システムを簡単・低コストで構築することが可能です。水位計を増設することでより高精度な予測が可能になります。

WEBでリアルタイム閲覧 危険時のアラート配信

気象庁が提供する予測降雨、水位計の実測水位、予測水位をクラウド環境で一元管理し、外出先からのデータ確認も可能です。危険時にアラームを設定し、メール等での通知も可能です。

AIと物理モデルの ハイブリッド予測システム

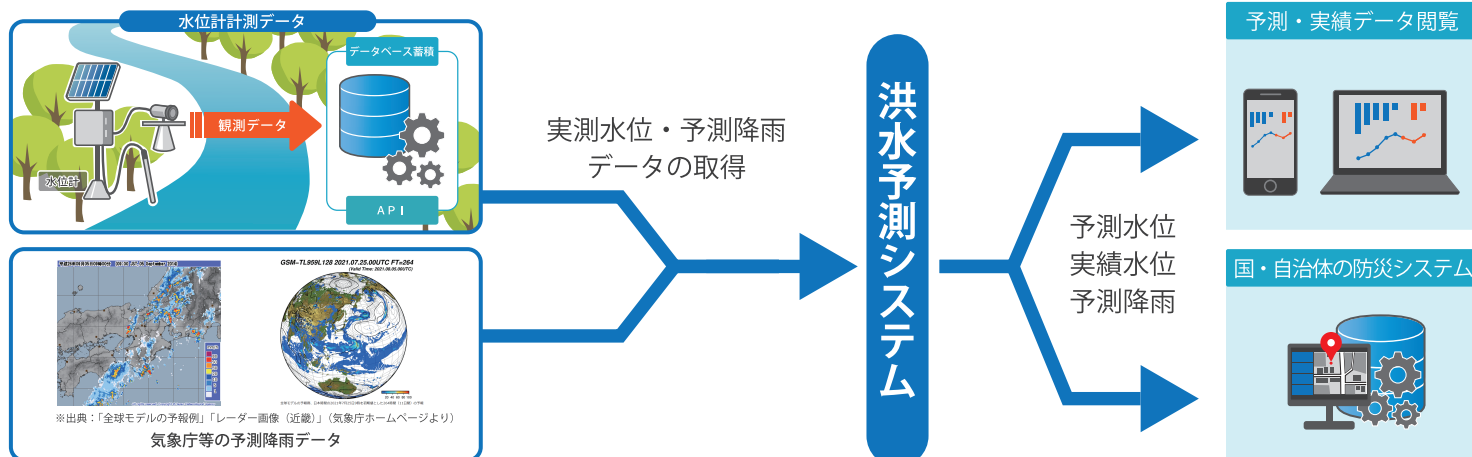
AIモデルと物理モデルのハイブリッド構成により、未経験規模の洪水にも適切な予測が可能です。実測データが乏しい地点でも導入可能で、運用後のデータ蓄積を通して、継続的に精度を改善します。

柔軟なシステム連携

API経由で既存の防災システムや基幹システムと連携が可能です。表示画面のカスタマイズや他システムとの統合など、ご要望に合わせた柔軟なカスタマイズにも対応します。

水位計を活用した洪水予測システム

システム構成



提供機能

- ・オンラインデータ閲覧
- ・データ取得 API
- ・縦断予測表示（※オプション）

提供データ種別

- ・予測水位（予測対象地点）
- ・実測水位（水位計設置地点）
- ・予測降雨（対象流域範囲）

予測時間間隔

- ・～6時間後：10分
- ・7～24時間後：1時間

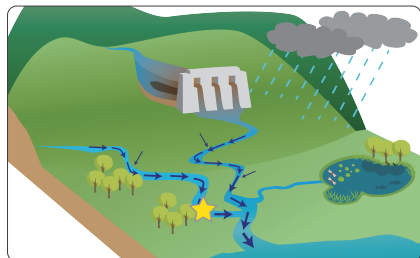
更新間隔

- ・10分

※河川断面データのご提供が必要です

洪水予測システム導入例

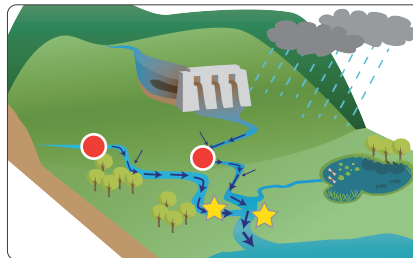
洪水予測システム：最小構成モデル



- ★・・・水位予測対象地点（水位計設置）

- ・気象庁の予測降雨データから任意の地点の水位を予測
- ・水位計の実測データを利用して予測精度を向上

洪水予測システム：バックウォーター対応モデル



- ・・・水位計設置地点
- ★・・・水位予測対象地点（水位計設置）

- ・支川のバックウォーターの影響を加味した水位を予測
- ・上流側に水位計を設置することで予測精度をさらに向上

導入フロー

① 導入地点の
状況確認

② 予測システム
構築のご提示

③ 予測モデル構築
システム導入

④ システム
運用開始

⑤ 運用・保守サポート
（年1回の運用レポート&予測モデルチューニング）

まずはお気軽に
お問合せください



お問い合わせ先

株式会社 **ハイドロ総合技術研究所**

〒530-6126 大阪市北区中之島 3-3-23 中之島ダイビル 26F

E-Mail: hydro-mail@hydrosoken.co.jp TEL: 06-6479-3811

<https://www.hydrosoken.co.jp/>

●このカタログ記載の内容は2022年8月現在のものです。

●記載内容は予告なく変更することがあります。